

11月20日(土)開催（浜中央校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
1	<p>本日は説明会を開いていただきありがとうございました。</p> <p>児童数が減っている、小規模化してきて、主体的、対話的、深い学びができにくくなっているというお話がありました。35人学級よりも今の少人数の方が子ども達同士の発言もしやすく、職員一人ひとりに手厚い教育ができるのではないのでしょうか。</p> <p>地域の特色、つながり、今まで大切にしてきたことがないがしろにならないのか気になります。各校が大切にしていることを話し合いで折り合いをつけていけるのでしょうか。課題やデメリットはないのでしょうか。</p> <p>やってみたがダメだったでは、子の安心、安全な教育が保障されるのかと不安です。</p> <p>放課後の校庭の使い方を教えてほしいです。部活があるので、小学生が使えなくなるのでは。</p>	<p>より少人数の学級の方が子どもたちの発言の機会も多く、きめ細やかな教育を行いやすいとのご意見ですが、今回の適正規模の取組は学級ではなく学校の小規模化の是正を目的としています。</p> <p>文部科学省が示す、新しい学習指導要領では、学校で学んだことを子どもたちの将来につなげていくために、主体的・対話的で深い学びを重視しており、そのため教育委員会としては、集団規模が確保された教育環境の下で、多くの友達をつくり、時には自分と違う多様な考え方に触れる機会をたくさん創ることが大切であると考え、今回の適正規模・適正配置の取組を進めているところです。</p> <p>学校の再編により、地域・保護者の皆様が、地域のコミュニティや、これからの教育活動について不安に思われる点については、今後も十分にお伺いし、その解消に向けて努めていきます。</p> <p>なお、施設一体型小中一貫校におけるグラウンド使用のあり方については、他市の好事例を参考にしつつ、時間帯を分けるなど、子どもたちの安心・安全を最優先に考え、検討していきます。</p>
2	<p>浜小学校での、独自の学習や、地域性を活かした教育活動大切で、良い所が多く有るので、残していただきたいです。</p> <p>町会や子供会活動も含みます。校区が一つになればくずれるように思います。</p> <p>一緒に子ども達のためにがんばりましょう。</p>	<p>これまで地域の皆様に支えられてきた各学校において、子どもたちの豊かな心を育むために実践してきた、地域性を活かした特色ある教育活動については、再編後の学校においても引き続き積極的に取り入れていきます。</p> <p>また、町会活動や子供会活動等地域のコミュニティ活動のあり方については、地域の皆様のご意見や考え方を尊重した上で、市長部局と連携し、引き続きその活動を支援していきます。</p>
3	<p>東葛を小規模特認校に定めたのにこの統合をどう考えているのか？</p> <p>「適応力」だとか言うが、少人数ならではの活発な討論などある。</p> <p>大規模になると陰にかくれて結局話をしない子供も多くでてくる中で、少人数ならではの行き渡った教育ができる。合併した後の学校で今のような特認校の維持は不可能と考える。</p> <p>又、小中一貫と同じ囲いの中で9年過ごすことでそれこそ次のステップに進む際に適応できなくなるのでは？とも考える。</p> <p>小→中への環境変化に適応する能力をつけるのも教育の一つである。</p> <p>岸和田の学力が低いことを「中1ギャップ」などの言葉で説明されていたが、全国どこも同じ条件の中、この説明は成り立たない。</p>	<p>東葛城小学校の小規模特認校については、導入当時の児童数が、2つの学年を合わせても13人という状況であり、複式学級化が目前に迫っていたことから、その状況を回避すべく、地域と協議を重ね、平成29年12月に東葛城地区市民協議会から小規模特認校制度の導入に関する要望書の提出を受け、その導入を決定したものです。その結果、現在でも複式学級化は回避されており、教育委員会としても導入効果はあったものと考えています。一方、東葛城校区の児童数は今後増加が見込めず、特認校制度をもってしても小規模化が改善されない中で、一定の集団規模が確保された教育環境を整えていくことが必要であると考え、今回の案をお示ししているものです。</p> <p>新たな特認校については、各地域特性を活かした様々な教育活動の展開が考えられ、その内容については、各地域の皆様や保護者の皆様のご意見を踏まえた上で検討していきます。</p> <p>小中の環境の変化に対応する力を身に付けることについて、その必要性も十分認識しております。今回は、その環境の変化に対応できない状況がさまざまあることを大きな課題としてとらえて、小中一貫教育を推進しようと考えています。変化への対応力については、学校教育におけるまた違う場面で体験させながら身に付けることができると考えています。</p> <p>また、学力は、学校教育はもとより、家庭や地域の状況など、子どもたちを取りまく様々な環境が影響しており、「中1ギャップ」だけが全ての原因とは考えておりません。学力向上については、さまざまな取組を総合的に行っていく必要があり、その一つとして、小中一貫教育が有効であると考えております。</p>

11月20日(土)開催（浜中央校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
4	<p>プレゼンテーションが長すぎます。大学教育では10-15分程度、スライドは8-12枚程度と教えられています。今回のスライド前半は25枚、後半は13枚、時間は前半は25分、後半は9分であった。</p> <p>後半は許容できると考えるが、前半はベルが何10回も鳴る状態である。大学の卒論発表はA4、30-50枚で7.8分です。市の実施計画は19枚しかない。5分のできる。</p> <p>明日の3校区の説明会までに訂正して欲しい。</p>	<p>今回の地域説明会は、教育委員会が取りまとめた実施計画（案）を市民の皆様によりわかりやすく、丁寧な説明を行うために実施しているものです。5分間では必要な内容を十分にお伝えすることが難しく、必要な時間であったと考えています。</p>
5	<p>20日市立公民館での説明会に行きました。対象外の校区からの参加なので、発言をひかえましたが、この市がやろうとしている計画の主旨、意図がわかりませんでした。少人数、小規模が問題である。ならそれに対してもっと説得の話が必要でしたね。会場のどなたかが言われたように、特認校の東葛城小のよさに少人数の事も書いてありました。なのにそれに触れずに1学年1クラスが問題を強調されました。浜小の保護者の発言からも、少人数だからこそ学校中の児童の名前がわかり、先生にいいに教えてもらい、大変よかったと言われましたね。</p> <p>幼稚園問題では、希望者が少ないことに対して市が何か行動したのかの問いに言いわけでしたね。3才児保育・給食を小学校から運んでもらい、幼稚園児の親のねがいに答えていないので、つい私からも発言させて頂きました。いい事づくめの天神山の幼小教育が、すすまないのでしょうか。今回の説明会は何回聞いても納得できません。勝手にすすめないで下さい。</p>	<p>小規模校ならではの取組や優位性があることは承知していますが、子どもたちには、成人するまで、また、成人した後も、限られた少人数の環境が保障されるものではありません。教育委員会としては、義務教育9年間の学校生活の中で、子どもたちが身に付けた力が、将来社会に出た時も、たくましく、生きる力につながるものが何よりも大切であると考えており、そのためには小・中学校の段階から、集団規模が確保された教育環境の下で、多くの友達をつくり、時には自分と違う多様な考え方に触れ、時には意見を闘わせながら、ともに協力して課題を解決していく力をつけることが大切であると考えます。</p> <p>幼稚園に関しては、保護者の希望に応えるため、アフタースクールを拡充してきたこと、給食については、衛生面、安全面や、アレルギー対応、3歳児への特別な配慮の必要性などから、導入には至らず、引き続き検討していることなどを説明させていただきました。</p> <p>今後も引き続き十分な説明と話し合いを重ね、市民の皆様の不安の解消に努めていきます。</p>